

(様式第11号) (第24条関係)

太陽光発電施設設置届出書

2025年 4 月 30 日

長野県知事 様

住 所 長野県岡谷市長地柴宮2-12-6
氏 名 株式会社 グッドライフ
代表取締役 小泉 翔建
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第24条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪字山越3902-1、3905-1、3906-1
事業区域の位置及び面積		1746.0 m ² 位置図、事業区域図のとおり
太陽光発電施設の合計出力		49.50kW (太陽電池の合計出力98.56 kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (なし) オフサイトP P A方式により関東圏大企業に電力売電予定
	設置工事着手予定日	令和7年6月1日
	設置工事完了予定日	令和7年6月30日
	運転開始予定日	令和7年6月30日
	施設撤去予定日	令和37年6月29日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造(強度)計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別紙 【景観の保全のための措置の検討状況書】参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 (※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。)		
備考		連絡先 (電話番号) 0266-78-6018 (FAX番号) 0266-78-6017 (電子メールアドレス) info@good-life.jp.com

注 1 該当する□内に△印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、届出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

- (添付書類)
- 1 位置図
 - 2 事業区域図
 - 3 太陽光発電施設の配置図
 - 4 条例第11条の書面
 - 5 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙工程表の通り		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ） 36 台 2 台×18 日 運行時間 平日 9：00～17：00 経路 別紙現地までの地図のとおり		
造成工事	盛土の有無	無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		m ³
排水処理設備の有無	有		
	排出経路	敷地内浸透処理	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面や高台ではないが周辺に農地が広がっている為、土地の造成は無しとした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	眺望点からは見えない
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	町道の道路境界より最小2mほど後退した
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地内の十分な幅の管理用通路によりパネルを複数に分割した
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を考慮してパネルの水下を1mとし水上を1.925mとした
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	角度10度で設置する計画 圧迫感も比較的少ないと考えられる
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	真南0° で揃えて配置します
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	付近の建築物は4-5寸勾配が多く、パネルの角度10度としている為比較的近い角度となっている
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	道路からなるべく後退させて配置した

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され、結晶が目立たないものを選択した
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒または濃紺を採用します
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	用います
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	用います
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		付近の景観に合わせ緑色のフェンスを使用します
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数とするよう検討した
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		表面は白色のものを採用します
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		緑化は行いません
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		緑化は行いません
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		近隣に反射光が行くような住宅はありませんので反射光の影響は少ないと考えられる
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		30年間の維持管理計画を立て、それに沿って管理を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		箕輪町役場建設課建設管理係確認した

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 7 年 年 1 月 24 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県上伊那郡箕輪町東箕輪 3902-1、3905-1、3906-1	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	〒394-0083 長野県岡谷市長地柴宮 2-12-6 株式会社 グッドライフ 代表取締役 小泉 翔建 0266-78-6018	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社 グッドライフ 小林 亮二
	電話番号	0266-78-6018
合計出力	49.50kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 37 年 6 月 29 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	・ 太陽光発電施設の処分は廃棄物処理業者に依頼する ・ 撤去後は農地に戻す予定 ・ FIT 法の廃棄費用積み立て制度に準拠し独自で積み立てを行う	
維持管理計画及び状況の公表方法	・ 標識と一緒に現場に置く	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

○強風による飛散 ・ 太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような 劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による水害 ・ 土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

・ 事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に 連絡をする。

・ 土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年1回	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	

			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	9月
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年3回	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年3回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。



上伊那郡箕輪町東箕輪3902-1、3906-1、3905-1



町道737号線

町道737号線

箕輪町道730号線

箕輪町道705号線

箕輪町道736号線

町道738号線

箕輪町道738号線

箕輪町道738号線

箕輪町道738号線

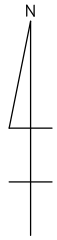
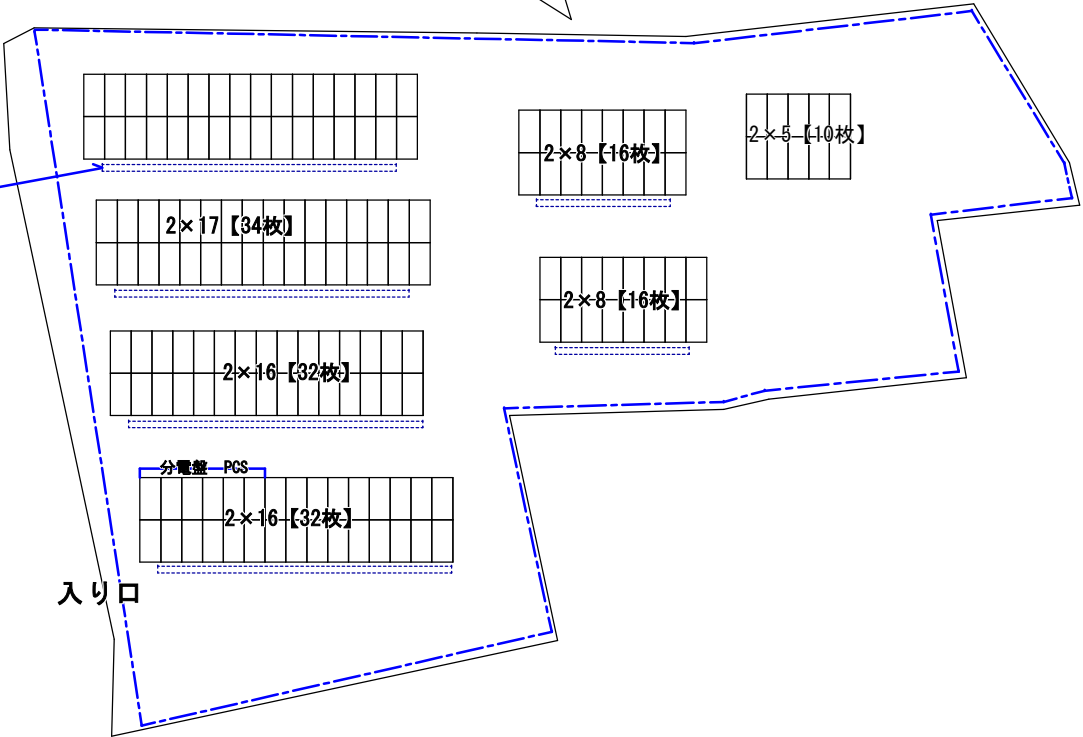
町道705号線

Google

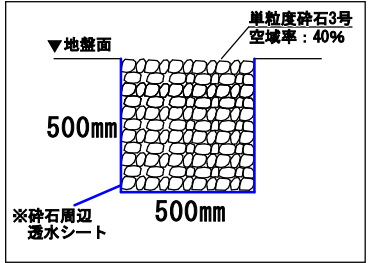
フェンス位置

浸透設備

入り口



浸透設備 横断面図



システム概略

設備認定出力	
DC/AC	97.94kW/49.50kW
太陽光発電モジュール	CS6W-590T
パワーコンディショナー	KPV-A55-J4
パネル枚数	166枚
パワコン台数	10台
使用架台/基礎/GL高さ	アルミ/スクリー/1,000mm
架台設置角度	設置角度: 10度 方位角: 0°
フェンス距離	150m
設置場所住所	上伊那郡箕輪町東箕輪3902-1その他2筆
搬入可能車両 (備考)	

No.	項目	担当（敬称略）	1月				3月				4月				5月				6月				7月				備考
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
1	農地転用申請												申請					完了									
	ガイドライン申請												申請					完了									
2	県条例申請																										
	事前申請		申請	完了																							
	説明会																										
	意見要望縦覧期間																										
	意見回答・本申請																										
3	接続協議																										
	連係申請書類の公開	中部電力																									
	申請準備・書類作成																										
	軽微変更届	中部電力																									
	接続工事	中部電力																									
4	連系後 検査期間																										
5	資材調達																										
	モジュール	グッドライフ																納品									納品予定
	パワコン	グッドライフ																納品									納品予定
	架台	グッドライフ																納品									納品予定
	その他資材	グッドライフ																納品									納品予定
6	工事																										
	架台・パネル設置	工事業者様（グッドライフ手配）																									
	電気工事	工事業者様（グッドライフ手配）																									
	フェンス・浸透設備	工事業者様（グッドライフ手配）																									
7	着手届																										
8	完成届け																										
9	使用前自己確認																										



案内図

上伊那郡箕輪町東箕輪3902-1、3906-1、3905-1

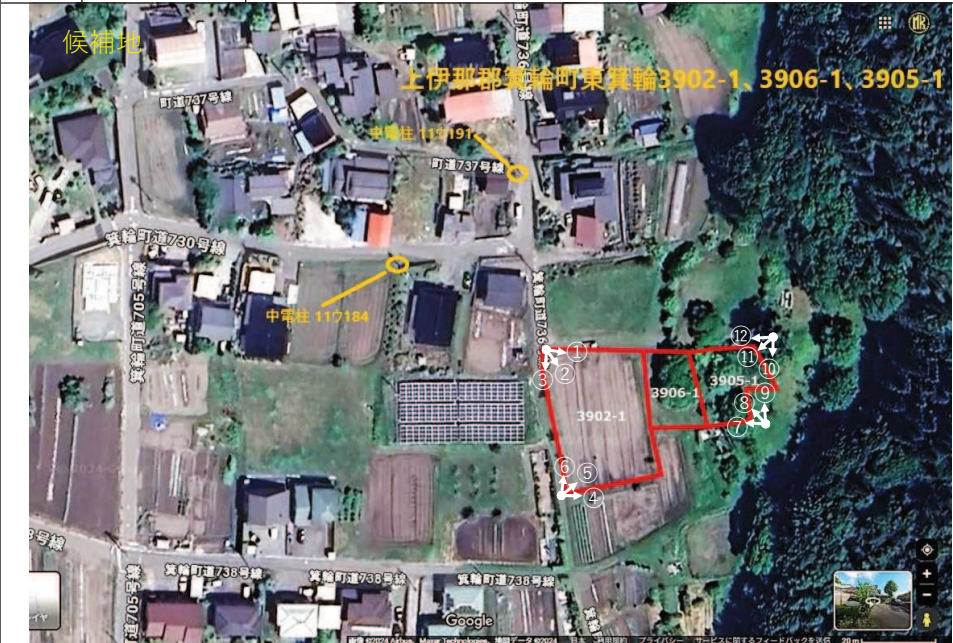




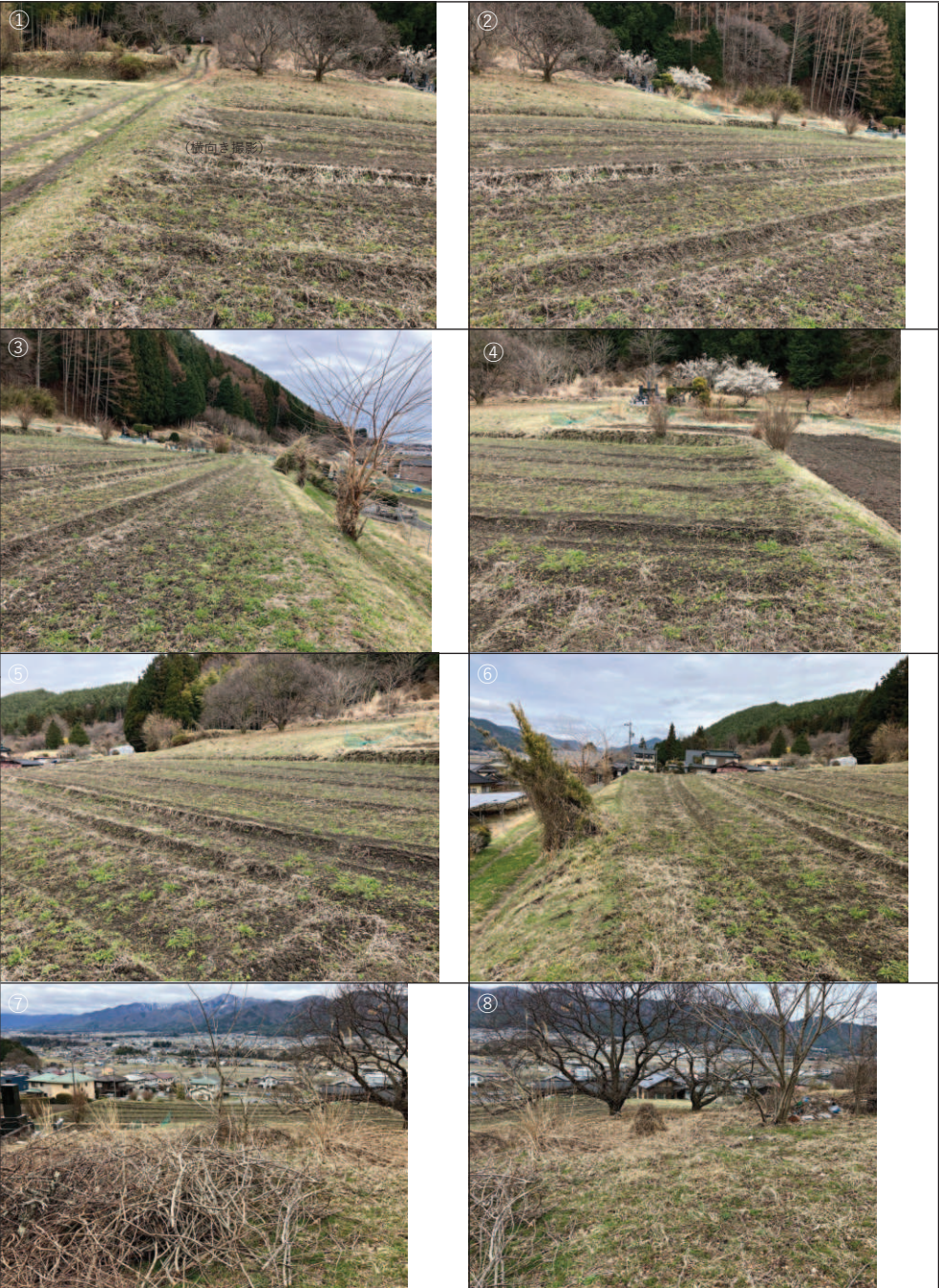
物件確認報告書

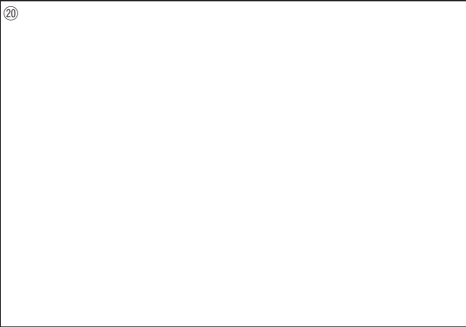
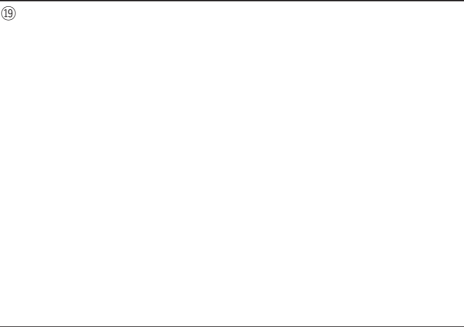
担当者（社名・担当者名）		株式会社グッドライフ 小泉翔建		現調実施日	
管理番号					
所在地					
■基本情報	地積	㎡（公簿）		地目	
	緯度			経度	
	区域区分	☐ 都市計画区域内		☒ 都市計画区域外	
■チェック項目					
項目		内容			チェック欄
土地状況		高さ概ね1m以上、勾配概ね30度以上の段差や法面がないこと（近隣地含む。）			☒
不安要素		事業地及び近隣地に事業に影響する不安要素がないこと			☒
ハザード	■該当なし（津波・液状化・下記全て） ☐ 洪水（最大浸水） ☐ 土砂災害（ ☐ 急傾斜地 ☐ 土石流 ☐ 地すべり） ※1つでも該当する場合は要確認 ハザード指定理由：			☐ 高潮	左記
					左記
過去被災状況	確認日：		確認中		
	行政担当者 管轄部署：		氏名：		
	半径500m以内で過去に被災した事実がないこと				
	被災事実があり、当該災害に対して十分な対策工事が取られた場合				
	原因：				
被災内容：		☐ 浸水（ m） ☐ 道路冠水 ☐ 土砂災害 ☐ その他（ ）		左記	
対策工事の内容：					
地域条件		積雪（ cm）※100cm以下であること ☐ 離島ではない ☐ ノンファーム地域ではない			左記

■航空写真 検索ポイント



■位置図





(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

2025年 4月 30日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県岡谷市長地柴宮2-12-6 株式会社 グッドライフ 代表取締役 小泉 翔建
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪3902-1、3905-1、3906-1 設備ID (なし オフサイトP P A方式により関東圏大企業に電力売電予定)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		北小河内区様への回覧板
説明会の概要	日時	令和7年3月30日 (日) 19:00から
	場所	北小河内公民館講堂
	参加者数	11名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	株式会社 グッドライフ 部長 塚原 常好 後藤 満

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

- (添付資料) 1 説明会で配布した説明資料
- 2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

太陽光発電所建設計画

施工概要

「上伊那郡箕輪町東箕輪 3902-1、3905-1、3906-1 番」



株式会社グッドライフ

地目： 畑 面積： 1746 m²

[illegible]

調査地住所	長野県上伊那郡箕輪町東箕輪3902-1、3906-1、3905-1
ハザードマップ参照自治体名	箕輪町

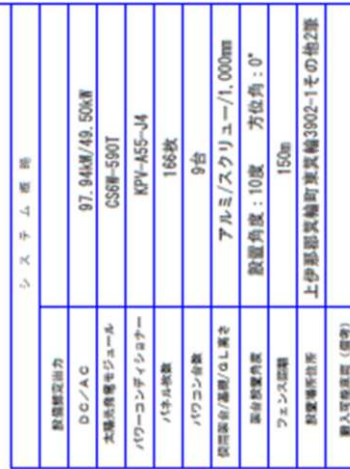
ハザードマップ

備考

- ・当該地域は、「土砂災害警戒区域」に該当いたします。

<https://www.town.minowa.lg.jp/catal/open/cnt/3/3986/6/map.pdf?20180620182752>

※現地測量後変更になる場合がございます

[illegible]

土地情報及び発電事業計画内容

発電設備の設置場所	上伊那郡東箕輪村 3902-1、3905-1、3906-1 番
事業者名	株式会社グッドライフ
事業者住所	長野県岡谷市
土地契約形態	売買による所有権移転
太陽光モジュール情報	
製造事業者名	カナディアンソーラー
モジュール種類	単結晶のシリコンを用いた太陽電池
変換効率	21%
型式番号	CS7L-590
枚数	166 枚
合計出力	97.94KW
パワーコンディショナー情報	
製造事業者名	オムロンパワコン
パワーコンディショナー種類	单相式
型式番号	KPV-A55-J4
自立運転機能の有無	有 災害停電時 1500w 分の利用可能
台数	9 台
1 台当たりの出力	5.5KW×台 49.5KW
基礎・架台・雨水対策（地盤調査・引張試験）	
基礎工法	スクリュー基礎
基礎材質	スチール製
架台材質	アルミ製
設置角度及び GL	10 度 低 1000 高 1800
強度計算	JIS 規格（強度計算）適合
積雪基準及び風速基準	47cm 30m/s
外構フェンス	150m
雨水対策	条例に従い設置（浸透試験実施）
施工会社	株式会社グッドライフ
施工会社連絡先	0266-78-6018
管理会社情報	
管理会社	株式会社グッドライフ
管理会社連絡先	0266-78-6018

管理

管理内容 ・年間3回～4回の除草作業 ・電気点検 (異常値が検出された場合ソコデス測定により原因を調べる) ・架台点検 (ボルトの緩み) ・遠隔監視による日々の異常確認 ・損害保険への加入	 ソコデス
---	--

スケジュール

ガイドライン、条例その他 ・町会及び自治会への案内 令和7年2月 ・隣接者様周知及び近隣説明会 (町会) 令和7年3月 ・条例の届け出 令和7年4～5月 (説明会終了後) ・条例許可 令和7年5～6月	農地法 (農地転用) ・農地転用申請 令和7年4月 ・農地転用許可 令和7年5月
--	--

太陽光発電設備の廃棄等費用積立制度の全体像

- 廃棄等費用確保WGで取りまとめられた廃棄等費用の確実な積立てを担保する制度の全体像は以下のとおり。
- 対象は、**10kW以上すべての太陽光発電※のFIT・FIP認定事業**。 ※ただし、複数太陽光発電設備事業も対象。

	原則、源泉徴収的な外部積立て	例外的に、内部積立てを許容
廃棄処理の責任	・ 積立ての方法・金額にかかわらず、 最終的に排出者が廃棄処理の責任を負うことが大前提	
積立て主体	・ 認定事業者 （ただし、内部積立てについては、上場している親会社等が廃棄等費用を確保している場合に一部例外あり）	
積立金の額の水準・単価	・ 調達価格/基準価格の算定において想定されている 廃棄等費用 （入札案件は最低落札価格を基準に調整） ・ 供給電量（kWh）ベース ※ 実際の廃棄処理で不足が発生した場合は事業者が確保	・ 調達価格/基準価格の算定において想定されている 廃棄等費用 と同水準（認定容量（kW）ベース）以上 ※ 実際の廃棄処理で不足が発生した場合は事業者が確保
積立て時期	・ 調達期間/交付期間の終了前10年間	・ 外部積立てと同じか、より早い時期
積立て頻度	・ 調達価格の支払・交付金の交付と同頻度（現行制度では月1回）※FIP認定事業で積立不足が発生した場合は、当該不足分は1年程度分まとめて積み立てる	・ 定期報告（年1回） により廃棄等費用の積立て状況を確認
積立金の使途・取戻し	・ 取戻しは、 廃棄処理が確実に見込まれる資料提出が必要 ・ 調達期間/交付期間終了後は、 事業終了・縮小のほか、パネル交換して事業継続する際にも 、パネルが一定値を超える場合に取戻しを認める ※具体的には、認定上の太陽光パネル出力の15%以上かつ50kW以上 ・ 調達期間/交付期間中は、 事業終了・縮小のみ取戻しを認める	・ 基本的に、外部積立てと同じ場合のみ、取崩し ・ 修繕等で資金が必要な場合の一時的な使用を認めるが、原則、1年以内に再び基準を満たす積み増しが必要
積立金の確保・管理	・ 電力広域的運営推進機関に 外部積立て ・ 電力広域的運営推進機関が適正に 積立金を管理 ・ 事業者の倒産時も、取戻し条件は維持されるため 債権者は任意に取り戻せず、事業譲渡時には積立金も承継する ・ 積立て状況は公表	・ 積立て主体が、使途が限定された 預金口座 又は 金融商品取引所との関係で開示義務がある財務諸表に廃棄等費用を計上することにより確保 、もしくは、資金確保の蓋然性が高い 保険・保証により担保 ・ 金融機関との契約による 口座確認又は会計監査等による財務状況の確認 ・ 内部積立条件を満たさなくなるときは、 外部に積立て ・ 積立て状況は公表
施行時期	・ 最も早い事業が積立てを開始する時期は 2022年7月1日 ※事業ごとの調達期間/交付期間終了時期に応じて、順次、積立てを開始	

4

太陽光廃棄

ガラスわけーるⅢ型システムの特徴

太陽光パネルの100%リサイクル

分離回収した素材はすべて有価物として活用されます。

『廃ガラスリサイクル事業協同組合』によるサポート

システムの導入企業には組合に加盟いただき、共同でリサイクル事業を展開します。組合で受入れ需要や地域の分担、精錬業者等への一括共同販売等を提供します。

装置導入シェアトップの技術とガラスリサイクルでの実績

ガラスリサイクルで培った分別技術と、廃棄物の有効活用の実績を有しています。質量でパネルの約80%を占めるガラスの出口も重要なポイントです。



ガラスわけーるⅢ型システム
（写真提供：協和工業株式会社）

当社自己紹介

法人名	株式会社グッドライフ
代表者	代表取締役社長 小泉 翔建
住所	長野県岡谷市長地柴宮 2-12-6 第二小口ビル 201
TEL/FAX	0266-78-6018/0266-78-6017
E-mail	info@good-lifejp.com
設立	平成 23 年 11 月
ビジョン・ミッション 基本方針	 ビジョン エネルギーを通じた 持続可能な豊かな社会の実現をする。 ミッション 地球環境とエネルギー事業を考え、 社会と調和ある発展を目指します。 基本方針 お客様に対する方針 私達の製品、サービスを通じて 豊かな価値を提供出来るように行動いたします。 メンバー及びパートナーに対する方針 同じ志を共有し、お客様、社会に対し、生きがいを持って 価値を提供し続けられる環境を整えます。 社会に対する方針 価値あるものを後世に渡すという考えのもと、 地域社会、世界で評価される会社を目指します。
許認可	■建設業 長野県知事（般-29）第 25588 号 ■不動産業 長野県知事（1）第 5398 号

「特別人向け」の法廷住宅が低調との声がある。一方、防犯警備が充実したマンション、防犯警備を中心とした防犯住宅が中心に増加傾向がみられているとの回答がある。

7～9月の全業の景況は、前年同月比プラス1.5。同事務所は、半導体関連の回復への期待がみられる。

5月15日(月) 製造業66社、非製造業1社が答えた。

製造業の景況は、前期から1.9割上昇して、マイナス10.6。パソコンや携帯電話などの需要減が続いているが、情報通信機械の大型需要は、半導体関連製品の需要が回復しつつあるとの回答があった。

非製造業の景況は、前期から20.0割上昇し、マイナス

校の隣に太陽光発電パネルを設置する方向で協議を進めている小泉建設社長は、地産地消エネルギー事業で地域活性化に貢献していきたい。同ファンドには、希望者は14件目まで、賛助資金の申請受理事務は、地域で関係する方に向けて取り組みが広がっていることを期待したい。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

株式会社 グッドライフ SUNWAD 太陽

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

「太陽光発電 PPA 事業 参入へ」

太陽光発電 PPA 事業 参入へ

13日、地域の企業や事業者は、城野事務所が PPA 事業を始める「SUNWAD」の PPA は、依然として初期段階がかならないとの利点が二つ、提供する事業計画はまだ完成が必要で、中小企業の参入が難しいと見られていた。地元企業による PPA 事業の展開が地域の活性化につながるという、出資を促した。

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

1月22日(水)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3丁目26番52-2000号

©長野日报社 2025

信州の環境にやさしい屋敷物

シス50 取得済

長野県建設No.504-00024

信州 沢田組

登録商標第5383435号

地庫置「みどり市」
茅野駅北口から徒歩5分

82-0363

491056332254

00136

ニュースヘッドライン

「供え」「備える」防災食 15

校庭裏に住居の藤田清隆和尚が、1人3日分の防災食をまとめた法事用供物セット「ソナエルゼット」を商品化し発売。仏様に供えた後、4・5年手元に残って万が一に備える

永明小永明中屋根に太陽光パネル

茅野市初のPPA方式

地元企業が再エネ地産地消

来月末にも発電スタート

茅野市永明小学校中学校の隣地にP.A.電力販売契約方式で太陽光発電設備を設置する事業が進められており、昨年末に竣工した本校のパネルが最初の屋根に並んだ。2月中旬には発電が始まる見通し。太陽光発電システムの販賣のグッドライフ、岡谷市緑地開発、小川建築工業が地元企業として、再生可能エネルギーの地産地消の事業を手掛ける。P.A.方式によらず太陽光発電茅野市では初。

(取材要)二面に関連記事

P.A.は団体だが保有約2兆円出たのは大規模な発電所の屋根で発電して電力で売る者が得られ、事業者負担と設置した発電機でまわされる電気を自給体でも購入利用する仕組み。グッドライフを通じてP.A.が挑戦。発電開始後は、既製の電力会社と電力料金交渉。学校の電気料よりも電気料金を設定しても学校側が電力として市側に返送する。

市側の準備はほぼ完了。学校の試験などにより、学校の全体の予定通り年度末まで6600時間、このうち6600時間のうちの

凍み大根作りの様子

凍み大根作

茅野市湖東温泉 朝晩
寒く乾燥した地域の風を生かすため、伝統的な作業が行われ、毎年のように収穫された、約500本を切り分け、約600個にも多量に農産物が

大切な土地お譲りください!!

農地

宅地

山林

原野

工場跡地

休耕地



地元密着

【土地に関するお悩みありませんか？】

- 草刈りがご負担になっている...
- 農業経営が成り立たない...
- ご相続... ● 後継者...

税金や土地の管理で頭を悩ませている

そんな土地を

買います!!

借ります!!

運用します!!



地球環境とエネルギー事業を営む

0120-786-018

本社／長野県岡谷市長地柴宮2-12-6 宅地建物取引業：長野県知事(1)第538号 建設業：長野県知事(般-28)第2558号
HP <http://good-life.jp> FAX. 0266-78-6017 info@good-life.jp

This image shows a full page of a document template designed for writing. It features a series of evenly spaced, horizontal black lines across the entire width of the page, creating a ruled effect similar to notebook paper. There are no margins, headers, footers, or other markings present on the page.

箕輪町東箕輪地区太陽光発電所建設計画説明会議事録

説明会日時：令和 7 年 3 月 30 日（日）19：00

場 所：北小河内公民館

計 画 地：上伊那郡箕輪町東箕輪 3901-1、3901-3、3901-4、3901-5 番
3902-1、3905-1、3906-1 番

出席者様：区長様、役員様を含む 11 名様

説明者：株式会社グッドライフ 塚原常好

使用資料：各計画地施工概要

●施工概要をお配りし施工について説明

説明内容：土地情報（場所、面積、地目）

ハザードエリアについて

配置及び事業内容について

管理及びスケジュールについて

使用するモジュール及びパワコンについて

ご意見・ご質問	回答
Q1. 事業の確実性と地域への影響について Q1-1 すでに計画を進めるという前提で資料が作られている。知っている者ならば良いが知らない人は勘違いする。以前もお伝えしたはず… Q1-2 景観変化、管理体制について不安がある。	Q1-1 大変申し訳ありませんでした。 Q1-2 ・施工・管理 - グッドライフが管理会社になります。しかし、今後は所有権移転の可能性はあります。 ・グッドライフが、区・グッドライフ・新電力会社間の協定書締結し、管理体制を明確化します。これにより、口約束での認識の違い

	等のリスクを回避します。また担当者変更による情報の断絶防止につなげます。 ・反対意見がある場合の柔軟な対応をします。実際他の地区では、計画を中止にした案件もあります。
Q2. 土砂災害・水害リスクについて 土砂災害、水の流れ、浸透への懸念がある。 土地は西傾斜で道路を挟めば住宅があり土砂等流れ込まないよう対策をしていただきたい。	-浸透試験を実施します。 住宅地に流れ込まない為の設計をし浸透側溝を設置します。宅内処理を原則とする。リスク管理として、地盤調査の実施を行います。また最大想定される災害への対応をお約束します。台風通過後などはパトロールを実施しますが、基本遠隔監視で管理します。
Q3. 景観・道路への影響： 歴史の道があるため、景観の変化の不安がある。道路からの距離を離すなど対策をとってほしい。	・設置場所のへ配慮として、道路から一定距離を確保します。場合によっては、植栽やフェンス外側への緑地帯設置景観対策をすることによって、景観対策も可能です。 ・車両通行可能なスペース確保するなど総合的な対応方針は、地域との対話重視、透明性の高い情報公開、柔軟な対応と地域との合意形成、環境と地域への最大限の配慮であり、グッドライフとして誠意を持って対応させていただきます。
Q4. 土砂災害と自然への影響 Q: 特別区域、また地域内には沢があるため、災害リスク、そして地形変化への懸念がある。	・木を切るなど、自然を壊さない方法で発電所を設置する方針です。災害に関して、これまで事故事例は弊社ではありません。これまでは川の保全区域での施工経験もあります。 ・災害対策 - 国・県の基準以上の安全対策を実施します。これだけでなく、起こりうるリスクへの最大限対応します。

Q5. 防災・減災への対応 地域には森林ビジョンがあります。森林を保全するなど防災意識が強い。グッドライフとして事故時の対応はどうか。	・ 条例以上の厳格な安全基準を設けます。想定される最大のリスクへの対策を致します。 ・ リスク管理として、遠隔監視システムや防災パトロールを実施します。また台風後などの気象後には即時点検を行います。事故が起きた場合は損害保険による補償があります。
Q6. 土地利用ができるよう太陽光施工に関して配置等考えていただき。	・ 車が通れるようにアクセスを確保します。車両通行可能なスペースを確保、フェンス設置前の現地確認も行います。必要があれば、事前立会いと協議の機会を設けます。 ・ これら柔軟な対応が行えるように、地主さまとの継続的な対話と必要に応じ調整を行います。
Q7. 周知方法と地域コミュニケーション 空きスペース、人通りの確保、周知方法はどうか？	・ スペース確保として人が通れる幅、草刈りや管理のためのスペースが必要になるので、すみ出しを行います。 ・ 周知方法に関しては、回覧板によって地域周知を行います。必要があれば、個別説明も併せて行います。 ・ 現地立会いと意見交換を通して、透明性の高いコミュニケーションをお約束します。また地域との継続的な対話により、安全性と環境への最大限の配慮を行います。これらが柔軟で誠実な対応を取る我々会社としての姿勢です。
その他 協定書に関して	・ 約束するという確約として協定書を弊社で作成します ・ 協定書の主な内容は以下です。 a. 管理会社は常にグッドライフが関与すること b. 事業者変更時は区の承諾が必要となること c. 所有者変更時も協定内容を継続すること

	d. 地域へ協力金をお支払いすること e. 地域との共存を重視 して開発すること これらをお約束します。 ・ 案件一件ごとに作成いたします。そのため、以前佐久では協定書を 3 0 案件ごと、30 部を作成したこともあります。
--	--

7 総ゼ第 9 号
令和 7 年 4 月 10 日

株式会社 グッドライフ
代表取締役 小泉 翔建 様

箕輪町長 白鳥 政徳

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第 12 条の規定に基づく意見書

標記のことについて、貴社が 2025 年 1 月 24 日付で県へ提出した事業基本計画書（事業計画地 長野県上伊那郡箕輪町東箕輪 3902-1、3905-1、3906-1）について、地域住民等からの意見を踏まえ、以下のとおり意見を提出します。

記

- 1 事業計画地は町指針における配慮地域であり、土砂災害警戒区域が含まれるとともに、上流及び隣接には土砂災害特別警戒区域が存する場所です。事業基本計画書には点検及び事故・災害発生時の対応の記述はありますが、そもそも事業計画において土砂災害に対して何らかの対策や配慮事項等がありますか。→東側を空けることにより土砂がいかないようにします
今後必要が出てきましたら、土砂を飲み込む穴を掘ります
- 2 町道 736 号線は東山山麓歴史の道として、地域住民が整備してきました。散策する方に圧迫感などを与えないよう配慮をお願いしたい。
→散策する方に配慮致します
- 3 事業計画値は、大庭平遺跡の範囲内に該当するので、埋蔵文化財の届出をお願いします。
→承知しました

箕輪町役場 総務課 ゼロカーボン推進室
電話：0265-79-3144（直通）
e-mail：zero@town.minowa.lg.jp